

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0959
施設名	うめのき保育園
施設所在地	小平市鈴木町2-186-4
法人名	社会福祉法人小松福社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

園庭遊び

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

自然や新しい環境に対して、子どもたちが、どこに興味関心を向けるのかを知る。又、外遊びで外気に触れながら走ったり、コンテナに登ったり体を動かす楽しさを知る。

2. 活動スケジュール

1 月初めて園庭に出て遊びだす。

2 月雪遊び、初めての雪、氷に触れる

3 月道具を使って遊ぶ、幼児も使う広い園庭に出始める。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

木の椅子 八つ車 子どもの発達と状況、時期を見て道具を出した。

4. 探究活動の実践

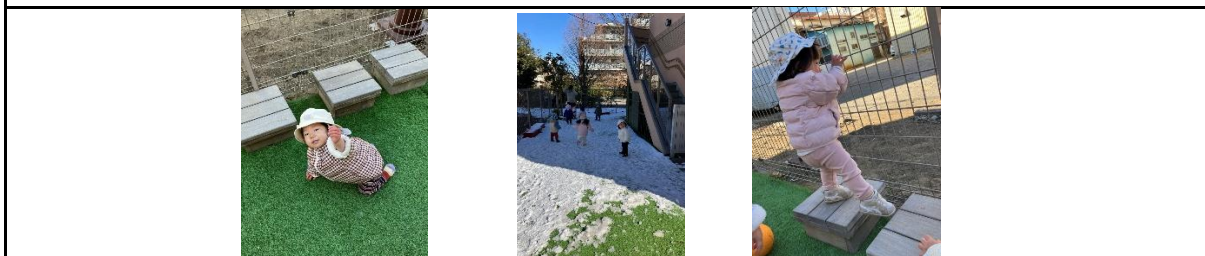
<活動の内容>

草木に触れたり、日差しや外の冷たい空気を体で感じる。安心できる大人と初めての環境に出会い、新しい世界に対して興味を示す。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

「はっぱ」「ひこうき」と見えたものを言葉で大人に知らせたり、靴を履いてバランスをとりながら歩くことを大人と一緒に楽しんだ。芝生に座り、手で触り感触を楽しむ子もいた。雪や溶けた水にふれて感触を楽しんだり、初めての経験で緊張する子もいたが直接手で触れなくても、足で踏みしめてみたり、冷たい気候を肌で感じる経験ができた。大人が先に触れることで、興味を示し触ってみる子もいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちの外への興味関心度は高かった。安心できる大人と一緒にいけたことで行動範囲がより広がったように感じる。家庭での外遊びの経験もあり、園でも同じ体験ができたことでの嬉しさも感じられた。子どもたちの自然物に対しての興味関心はあっても関わり方や感じ方は各々違い「はっぱね」と言葉で話す子もいれば、眺めて微笑む子もいて表現の仕方もそれぞれで面白かった。言葉でのやりとりが中心ではない時期なので、表情や仕草をヒントに子どもの気持ちに寄り添えるようたくさんの言葉をかけながら関わられた。